

英語 出題意図

出題のねらい

基本的な英語力を試すという例年通りの「出題のねらい」と問題形式に変わりはありません。内容把握と基本的な英語能力を試すことを中心に問題を作成しています。全体として特異な問題ではなく、前置詞・慣用句・文法構造の理解などの基本分野における学習に力を入れて準備し、対策を立てることで十分対応できる問題ばかりです。

大問Ⅰは、長文の読解力を試す問題です。抽象的な題材を扱った長文読解力を試すのではなく、受験生が読みやすい題材を選択しています。本文に即した英語の質問に答えられるかを試すもので、文章の大体の内容をフォローできれば、各問題は特に難解なものではありません。

大問Ⅱは、英語の対話文を読んで設問に答える問題です。対話の内容を追いながら、各登場人物が具体的に何をしようとしているのかを理解することに努めてください。会話が成立している状況を理解すれば、会話表現の意味を問う問題を比較的簡単に解くことができます。

大問Ⅲは、慣用句や単語の意味を推量して前後関係を考える問題です。150語程度の短文を読み、接続詞・前置詞・関係代名詞などを入れて文を完成させながら内容を把握する問題となっています。

さらに、大問Ⅳ・Ⅴで基本的な文法やイディオムの知識を問う問題が出題されます。日常よく耳にするような平易な文章表現を英語にする能力を問う問題です。英文構造の理解度、英語の基本文法力を確認する問題で、これもまた特に難解な表現などを扱っているものではありません。

受験生へのアドバイス

長文読解の練習で、単語や慣用句の学習をすることは奨励しますが、辞書がなければ1行も進めないというような勉強の仕方から脱却し、文章の前後関係に注意しながら、自分のもつ語彙力で英文全体を把握できるよう

に，日頃から練習しておくことが大切です。ストーリーの展開や内容理解，または対話を通しての具体的な出来事や意見など，順を追って理解することができるかどうか要求されます。

一度自分の力で内容を把握する練習をし，それから自分の推測を確かめる意味で，辞書を使い，ノートに記録を蓄積していくというオーソドックスな学習を奨励します。

受験の当日に向け，日頃から単語や慣用句，そして基本的な英文構造の理解などの分野に強くなる努力をしておいてください。